



※河道掘削は洪水時の河床低下量や堆積箇所を調査した上で実施する。
 ※位置や構造については、今後の詳細設計を経て最終的な形状を決定する。
 ※急流河川対策の事業実施区間及び工法は、みお筋の変動状況や低水路河床高、平面線形、高水敷高、幅や河床材料等の諸条件を踏まえ、決定、必要に応じて見直しを行っていく。
 ※整備箇所や工法については、出水の状況や新たな知見等も踏まえ、変更となる場合がある。

附図-1